

データサイエンス研究科 修士論文 審査基準

1.修了基準について	必修科目 14 単位、専門科目のデータサイエンス技術から 2 単位以上、データサイエンス応用から 2 単位以上、ソーシャルイノベーションから 2 単位以上、合計 30 単位を修得するとともに、修士論文について本研究科が行う審査及び試験に合格することを修了要件とする。
2.審査基準	
修士論文・ 特定課題研究（修士制作） 審査の要点	<p>【データサイエンス専攻】</p> <p>本専攻における修士論文は、データサイエンスに関する、執筆者の深く幅広い専門知識と独自の問題意識のもとに、その解明・解決を図ることが期待されるものであり、以下の基準によって評価される。</p> <p>①修士論文において、データサイエンスの研究課題にかかわる従来の知見を系統的かつ過不足なく総括できていること。</p> <p>②修士論文に、従来のデータサイエンス研究と比較して新たな知見・考察・展望が含まれていること</p> <p>③申請者がデータサイエンス研究内容の意義、結果について十分に理解していることを、修士論文及び公聴会において適切に示せること</p>

データサイエンス研究科 修了基準・学位論文（博士）審査基準

1.修了基準	<p>【データサイエンス専攻】</p> <p>必修14単位、選択 2 単位（「未来創造発展セミナー 1 A、1 B」 2 単位又は「未来創造発展セミナー 2 A、2 B」 2 単位）、合計16単位を修得し、博士論文について本研究科が行う審査及び試験に合格しなければならない。</p>
2. 審査基準	<p>【データサイエンス専攻】</p> <p>本研究科における博士号の学位審査に係る博士論文は、データサイエンスに関する、執筆者の深く幅広い専門知識と独自の問題意識のもとに、その解明・解決を図ることが期待されるものであり、以下の基準によって評価される。</p> <p>①博士論文において、研究課題にかかわる従来の知見を系統的かつ過不足なく総括できていること。</p> <p>②博士論文に、従来の研究と比較して新たな知見・考察・展望が含まれていること。</p> <p>③博士論文は、高い倫理遵守意識に基づいた国際的な研究規範を十分に満たしていること。</p> <p>④申請者が研究内容の意義、結果について十分に理解していることを、博士論文及び公聴会において適切に示せること。</p>